

震災復興支援に関する 経団連の取り組み

2020年5月11日（月）
（一社）日本経済団体連合会

1. 震災直後の復旧支援

▶ 「救援物資ホットライン便」の立ち上げ (2011年3月)

被災県から要請のあった救援物資について経団連会員企業・団体より寄附を募り、食料品、生活用品等を被災地に運搬、支援。

▶ 「企業人ボランティアプログラム」 (2011年4月～8月)

経団連1% (ワンパーセント) クラブにて「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議」と連携し、「企業人ボランティアプログラム」を実施。49社・グループから延べ642名が被災地で活動。



家屋の清掃をするボランティア

2. シンポジウムの開催

- ▶ 「東日本大震災からの早期復興を願って－共助のあり方を考える」
(2012年3月)

社会貢献推進委員会と1%クラブにて開催し、約200名が参加。「東日本大震災における経済界の被災者・被災地支援活動に関する報告書－経済界による共助の取り組み－」を紹介するとともに、被災自治体をはじめとする関係者と復興に向けた課題や経済界の役割等について意見交換を実施。



パネルディスカッションの様様
左から岩手県の上野副知事、東北漁業再開支援基金・希望の烽火の岡本代表理事、ふんばろう東日本支援プロジェクトの西條代表

3. 被災地視察①

日時：2015年7月9日（木）

場所：JA郡山市

参加者：榊原定征 経団連会長（当時）ほか



片平倉庫・南東北B N C T（ホウ素中性子補足療法）研究センターを視察



東北経済連合会との懇談会で「新しい東北の創生に向けた共同声明」取りまとめ

3. 被災地視察②

日時：2016年9月8日（木）

場所：東京電力福島第一原子力発電所ほか

参加者：榊原定征 経団連会長（当時）ほか



福島第一原子力発電所構内の食堂を視察

- 2015年9月に避難指示が解除された楢葉町の現状ならびに避難指示解除準備区域、居住制限区域、帰還困難区域の実状を視察。
- 東京電力福島第一原子力発電所では、廃炉に向けた取り組みや汚染水の流出防止策等、構内の現状について説明を聞く。

3. 被災地視察③

日時：2019年6月3日（月）～4日（火）

場所：宮城県沿岸部

参加者：古賀信行 震災復興特別委員会 委員長

（野村ホールディングス会長 ※当時）ほか



石巻うまいものマルシェを視察



女川町の復興へのまちづくりについて意見交換



震災の遺構である「高野会館」を視察

4. 東北復興応援マルシェの開催

日時：2019年10月8日（月）～9日（火）

場所：霞が関ビルディング

主催：三井不動産 共催：経団連

マルシェの開催は東北の事業者にとって励み



マルシェで東北の魅力を再発見し、実際に訪れてほしい

PRセレモニーの様様
上：盛岡さんさ踊り、
下：「キビタン」による福島県のPR

3. 会合での復興支援メニューの提供

経団連主催会合等で、東北を中心に被災地の食材を用いた料理を提供

<p>魚料理</p> <p>ホエットソール デュクレレ風</p> <p>キオッチャ 紅芯大根</p> <p>ブロッコリー</p>	<p>前菜</p> <p>鬼手長海老のハートフリック巻き</p> <p>モルタテッラソーセージのカプレーゼ</p> <p>チェリートマト2種</p> <p>モッツアレラチーズ バジリコ</p> <p>岩手産清流鶏のマリネ インド風</p> <p>野菜のヒクルス</p> <p>(人参、カリフラワー、ハブリカ2種 赤、黄、小玉葱)</p>
<p>福島産こしひかり (御飯)</p> <p>ミックス胡麻</p> <p>復興支援メニュー 水無月</p>	<p>肉料理</p> <p>国産牛フィレ肉のタイステーキ</p> <p>ヴァンサントソース</p> <p>岩手産白金豚、熊本産ホテト</p> <p>福島産アスハラガスのフロシエット</p> <p>クレイヒーソース</p> <p>スッキーニ2種</p> <p>熊本産ほっちゃん南瓜</p>
<p>吸い物 三陸若布 豆腐 葱</p>	

会合での復興支援メニュー (例)



立食パーティーでの復興支援コーナーの設置